

科目名	流通経営論特殊研究	担当者	カトウ 加藤 ユウジ 孝治	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>本講座は流通産業の構造，流通企業の経営問題に対する深い理解を修得することにより，以下の能力を身に付けることを目的とする。</p> <p>① 流通産業の知識の修得を通じて，社会の構造変化の実態とそれに対応する企業の活動につき，自ら学ぶ【A-1:4】</p> <p>② 流通経営の知識を持つことで，現在のネットワーク技術の革新とそれに対する企業行動を理解し，今後の産業の方向性を自ら考えることができる【A-3:4】</p> <p>③ 国内外の流通業界の動向についてより深い見地から理解することで，流通研究・産業研究に対する研究視点を得るとともに，新たな学術的アプローチに向けて，自ら道をひらくことができる【A-5:4】</p>		
到達目標	<p>【一般目標 (GIO)】 流通企業経営に必要な企業戦略・組織運営に加え，産業構造に関する専門性を理解する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>① 学修者が流通産業に関する知識を幅広く学び列挙するとともに，それぞれの知識を関係づけて理解する(知識)</p> <p>② 具体的な企業の経営活動に対して，学んだ知識を活かして，深く洞察することで理解を一層深め，自らの研究に使うことができる技能に高める(技能)</p> <p>③ 産業構造の変化や企業活動が，理論通りに進まない状況に対し，どこにその原因があるかを配慮する(態度)</p>		
学修方略 (方法)	<p>【学修方略 (LS)・アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まず，基本教材を熟読したうえで，副教材も参考にしつつ，レポートドラフトを作成する（自習・レポート作成，SBO①②）【15時間/レポート1本】</li> <li>学修支援者によるコメントに基づく深い考察を行う必要がある。指導・考察のサイクルを複数回やり取りすることで理解が深まる。この時点で，基本教材・副教材以外の参考資料を，学修者が自ら探し出すことが求められる（自習・レポート作成，SBO①②）【15時間/レポート1本】</li> <li>インタラクティブな学習の場（ディスカッション）となる「複数回の添削指導」を通じて，最終的にレポートが作成される。それまでに与えられた課題以外の追加資料との整合性，先行研究との比較を通じた自主的なインプットによる深い理解に到達することができる（自主研究・レポート作成・ディベート，SBO②③④）【15時間/レポート1本】</li> </ul> <p>【準備学修時間】 準備学習時間：教材精読に留まらず，内容を理解し，関連する研究領域を探索することを自らやってみることで，理解は深まるため，基本教材の精読の3～5倍の時間は取りつつ，しっかり身に付けるだけの準備を行うことを期待する。</p> <p>また，具体的な企業事例に基づく研究が必要であり，各自が教材以外の関連書籍を探し，新聞・ネットメディアなどの記事のほか，企業の公表資料などにもアクセスしていく必要がある。論文，民間シンクタンクのレポートなどの幅広い情報源を活用することが望まれる。</p>		
スケジュール	<p>①提出期限までに何度かレポートを使って，考え方を確認・交換する必要があるため，最低でも前後期とも課題提出期限1か月前までには初回提出をすること。</p> <p>②受講開始後，課題へのアプローチ方法がわからず，早めの時期(提出期限1か月前)に課題提出することが難しいと考えた場合には，レポート作成に必要な質問をメールあるいは添削システムを使って連絡すること。効率的に学習に取り組むために，レポート作成前に，課題取組方針のすり合わせを行うことは望ましいことである。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	80%	①教材の内容を修得し，その考えを踏まえて解答されているか ②自分の独自の考えを，相手に伝わるように解答できているか ④ 教材以外の資料を活用して解答しているか（加点項目）
	平常評価	20%	最終提出までに複数回のレポート交換ができているか 途中稿提出期限（最終提出1か月前）が守れているか（減点項目）
履修者への要望	<p>本講座の対象となる流通企業とは，小売企業にとどまらず，卸売（中間流通）企業あるいは物流企業も対象であり，広く流通活動に携わる企業に基づく活動・研究として考える必要がある。</p> <p>履修にあたり，流通産業の実態に関する十分な理解が必要であることは言うまでもないが，あわせて，修士レベルの経営理論の知識があることを前提とする。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： Philip Kotler, Kevin Lane Keller(著), 恩藏直人監修 教材名： 「コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント 第12版」(丸善出版, 2014年) ISBN:978-4-621-06616-4, 8,500円+税
	教材はマーケティングの定番テキストであるが、このテキストの中から、流通企業経営に必要な不可欠な問題点を確認することができる
参考図書	Michael Levy, Barton Weitz, Dhruv Grewal “Retailing Management 10th Edition” McGraw-Hill Education (2018/2/17)
履修上のポイント	参考図書はアメリカの流通企業経営に係るテキストで、アメリカに留まらず世界の最新の流通産業の実態に触れているものである。産業に係る研究を進めるためには、常に、最新の情報を入手する必要があることを理解してほしい。 レポート課題に取り組むためには、提示している教材以外に独自に書籍・論文などを探し、問題を深堀する必要がある。
レポート課題 1	顧客の期待に対して流通企業はどのように反応することができるか <b>留意点:</b> まず、顧客は流通企業に対して何を期待しているのだろうか、ということを考えたうえで、その期待に応えるための流通企業側のアクションを示すことが求められる。
レポート課題 2	サプライチェーンの構成要素の一員である流通企業はどのように行動すべきか <b>留意点:</b> サプライチェーンは、製造業から消費者までの商品のつながりである。効率的なサプライチェーンを実現するために、各経済主体が担う役割を整理するとともに、現在、サプライチェーンにおいて起こっている変化を捉えて、望ましい流通企業の行動を示すことが求められる。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： Philip Kotler, Kevin Lane Keller(著), 恩藏直人監修 教材名： 「コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント 第12版」(丸善出版, 2014年) ISBN:978-4-621-06616-4, 8,500円+税
	教材はマーケティングの定番テキストであるが、このテキストの中から、流通企業経営に必要な不可欠な問題点を確認することができる
参考図書	Michael Levy, Barton Weitz, Dhruv Grewal “Retailing Management 10th Edition” McGraw-Hill Education (2018/2/17)
履修上のポイント	参考図書はアメリカの流通企業経営に係るテキストで、アメリカに留まらず世界の最新の流通産業の実態に触れているものである。産業に係る研究を進めるためには、常に、最新の情報を入手する必要があることを理解してほしい。 レポート課題に取り組むためには、提示している教材以外に独自に書籍・論文などを探し、問題を深堀する必要がある。
レポート課題 1	現在の技術革新により、流通企業が活用できるツールが大きく変化している中で、各企業に何ができるかを示しなさい <b>留意点:</b> 流通産業の情報活用は、最先端の取り組みである。インターネットを利用した製配販連携や、人工知能を利活用した販売戦略、在庫管理など、流通企業が利用するツールの変化を幅広くとらえて、企業経営に重要な視点を示すことが求められる。
レポート課題 2	流通企業の経営者に課されている意思決定上の課題は何か。列挙して整理せよ <b>留意点:</b> 企業経営者に課される課題は多い。流通産業では、古くからある課題に加えて、最新の変化によって直面することになった課題まで幅広く難しい問題に直面している。今、何を意思決定しなくてはいけないのか、一つずつ丁寧に考察することを通じて、産業の実態を明らかにする。